



Le Journal de l' Etoile.

高1 進路選択講演会～前編

来る11月に文理選択が控える高校1年生を対象に、9月9日の金曜日の5限から7限の時間を使って、OBの方々による講演会を行いました。前半4人が大学生OB、後半4人が社会人OBというラインナップで生徒たちは合計8人の先輩の話を、和やかな雰囲気の中ではあるものの真剣に聞いていました。実際に自分たちと同じ学校を卒業した先輩方が、どのような高校生活を送ったのか、そしてどのように今を過ごして考えているのかを直接聞くことで、自らの考えを深める良い機会になったことと思います。そんな高校1年生たちの今回の講演会に感想の中から、一部をご紹介しますと思います。

今回の講演会では、8人の先輩方にお話しいただいたが、中高時代から優秀で東大に進学された方もいれば、高校時代にカナダ留学してICUに進学した方や、暁星にいたときはあまり成績が良くなかった方もいて、色々な立場からのお話を伺うことができました。また、進路選択についても、自分の興味のある分野で選ぶべきという方もいれば、そうではなく将来の計画から逆算して選んだほうが良いという方もいて、全員が全員同じ考えをしているわけではないのだと改めて実感しました。つまり、こうして選べば良いのだという明確な答えはないのです。なので、大人に指図されるのではなく、やはり我々が自分で考えて決めなければならない。自由ではあるが、自分で決めたことには責任が伴ってくるので、しっかり考えて自分の進む道を決めようと思いました。(O・T)

ただの大学生、社会人ではなく、暁星の卒業生の意見や体験を聞いたのはとても貴重な機会だったと思います。全体的に時期の違いはあれど、進路を決める時に大学の先の未来をどうするかという意味が決まっていた方が良い未来になるという印象を受けました。文理選択を2択の問題として捉えるのではなく、多様な将来を決めるための1歩として認識する必要を感じました。

担任の先生方の文理選択や大学を選んだ理由、教師を志した理由なども聞いてみたいと思いました。(T・K)

